

Inter BEE 2022 出展、及び開催イベントのご案内

d&b audiotechnik Japanは、2022年11月16日（水）～18日（金）に幕張メッセで開催される Inter BEE 2022に、以下の通り出展します。ぜひお立ち寄り下さい。

ブースのご案内

- 小間位置： プロオーディオ部門(Hall 4) ブースNo. 4201
- 出展内容： フラグシップアレイSL-Seriesに新たに加わったXSLやd&bの固定設備用アンプラインアップのニューモデル5Dなどの展示に加え、ブース内に設置したd&b Soundscapeデモルームでは d&b Soundscape 体験フリータイムの他、製品セミナーや特別ゲストを招いてのトークイベントを連日開催します。

イベントスケジュール

	Nov 16 (Wed)	Nov 17 (Thu)	Nov 18 (Fri)
10:00			
11:00	製品セミナー：A-Series	製品セミナー：A-Series	製品セミナー：A-Series
12:00			SRスピーカー体験デモ：XSL
13:00	Soundscapeトークイベント①	Soundscapeトークイベント②	シドニーオペラハウス導入事例解説
14:00			
15:00	製品セミナー：5Dアンプ	製品セミナー：5Dアンプ	製品セミナー：5Dアンプ
16:00		SRスピーカー体験デモ：XSL	
17:00			

 d&b Soundscape 体験フリータイム
(d&b Soundscapeのオペレーションを、お客様ご自身で自由に体験いただけます)

※ 各製品セミナーとSoundscapeトークイベントの詳細は裏面をご覧ください。

SRスピーカー体験デモのご案内

中・大型ラインアレイ部門に参加し、下記の日時にて、d&bフラッグシップ・ラインアレイのニューモデル、XSLの試聴デモ、プレゼンテーションを行います。

- 1回目： 11月17日（木）15:50～
- 2回目： 11月18日（金）11:50～
- （会場：幕張メッセ イベントホール）



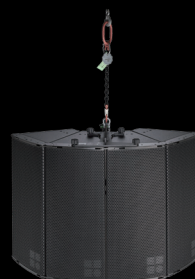
イベントの詳細

■ 製品セミナー

(1) オーグメンテッドアレイ “A-Series”

<日時> 各日、10:00～10:30

<内容> 可変式スプレッド角度調整機能を搭載し、自在なエリアカバレッジを実現したオーグメンテッド・アレイスピーカー、**A-Series**の最新テクノロジーについて解説します。



(2) 固定設備用超コンパクトアンプ “5D”

<日時> 11/16(水), 18(金): 15:30～16:00、11/17(木): 15:00～15:30

<内容> ハーフラックサイズの超コンパクトボディに柔軟なパワーシェアリング機能を搭載し、ハイパフォーマンスを実現したd&bの固定設備用アンプのニューモデル、5Dアンプをご紹介します。



■ d&b Soundscape トークイベント ～ 現場が語る、導入ストーリー ～

(1) Sapporo City Jazz “THEATER JAZZ LIVE”

<日時> 11月16日(水) 13:00～13:50

<対談ゲスト>

- ケイズサウンド株式会社 代表取締役、ライブサウンドエンジニア 風上 哲也 氏
- ケイズサウンド株式会社 ライブサウンドエンジニア 阿部 充志 氏



風上 哲也 氏



阿部 充志 氏

<内容>

毎年12月恒例の、“Sapporo City Jazz”で、2019年から導入されているd&b Soundscapeは、このライブイベントの何を変え、何をもたらしたのか。ケイズサウンドの代表、風上氏と、現場でオペレーションに携わるサウンドエンジニアの阿部氏が、その体験について語ります。

(2) NAQUYO –平安京の幻視宇宙–

<日時> 11月17日(木) 13:00～13:50

<対談ゲスト>

- サウンドアーティスト 長屋 和哉 氏
- 株式会社トレジャーアイランドコーポレーション
サウンド&スタジオ ディビジョン ディレクター 河本 徹 氏



長屋 和哉 氏



河本 徹 氏

<内容>

1200年の時を超え平安京のサウンドスケープを創造することをテーマに、昨年12月に京都ロームシアターで開催されたこのイベントで、サウンドアーティストとして活躍された長屋和哉氏と、共にサウンドシステムデザインを担当されたトレジャーアイランドコーポレーションの河本徹氏をお招きし、d&b Soundscape導入までの経緯や、実際に採用しての感想、経験談について語って頂きます。

■ d&b Soundscape 導入事例解説：シドニーオペラハウス

2017年の市場投入以来、ライブサウンドのみならず世界各国の劇場設備として採用されてきたd&b Soundscape。その中からアジアパシフィックを代表するシドニーオペラハウスの導入事例をAPACテクニカルディレクター、ギャレス・ケルブリックが解説します。



Gareth Kelbrick